

平成 28 年度経済戦略局の主要事業概要

経済へダイナミズムをもたらす中小企業の成長・発展を促進することによる経済成長の実現

さらなる経営力・技術力強化に向けた中小企業への支援

○大阪産業創造館等における経営力強化の支援 3 億 3 千 1 百万円

- ・大阪産業創造館において、様々なビジネスチャンスをとらえつつ、社会経済情勢の変化や企業ニーズに即応した支援事業を展開する。
- ・グローバル化への対応など多様化する中小企業の経営課題や、事業承継、女性の活躍促進等の社会経済情勢の変化に応じたテーマに機動的に対応し、様々な分野の専門家によるコンサルティングやセミナー開催、市場のニーズや販路を熟知したアドバイザーによる多様なマッチング機会の提供などにより、中小企業の経営課題の解決や経営革新、創業等を支援する。

○工業研究所における技術面の支援 12 億 7 百万円

- ・技術相談や試験分析、受託研究に対応し、中小企業が抱える技術面の課題解決に向けた支援や、中小企業が新たな技術・製品等の開発に効果的に取り組めるよう、研究所が産学官連携を促進するコーディネーターの役割を担い、共同研究開発プロジェクトの組成や推進、実用化の支援を行う。
- ・研究所内に設置した蓄電デバイスの作製・評価を行う「電池開発評価センター」やLED製品の評価を行う「次世代光デバイス評価支援センター」における環境・新エネルギー関連の技術開発支援などにより、成長産業分野への中小企業の参入や事業拡大を促進する。

○新規展示会誘致助成事業 2 千万円

- ・意欲と潜在力を持った中小企業にとって、展示会は効率的で効果的なビジネスの場となることから、より多くの商談機会の場を提供することを目的に、大阪市域内に新たな展示会を誘致するための補助制度を創設する。

地域の実情や特性に応じた中小企業への支援

○地域の実情・特性に応じた商店街・ものづくり企業等への支援 4 千 3 百万円

- ・来街者の安全性・快適性の確保及び集客力の向上を図るため、商店街等が実施するソフト・ハード事業に対して支援を行う。
- ・企業の人材確保につなげるため、将来のものづくりを担う人材を有する工業高校等とものづくり企業との交流を深める取組みを推進するほか、商店街や地域の魅力発信など地域の経済活性化につながる活動を区役所と連携して促進する。

○地域商業活性化推進事業 2 千 1 百万円

- ・商店街活性化に向けた支援策として、「商店街団体と地域の人や団体とを結び付けるネットワーク作り」を支援する。

○中小企業への資金支援

812 億 5 千 3 百万円

- ・市内中小企業の創業や事業を支えるため、大阪信用保証協会等と連携し、円滑な資金調達を支援する。

企業ニーズの把握や企画立案への活用、効果的な情報発信

○市内企業における企業活動の実態調査

1 千万円

- ・市内中小企業の事業実態調査（アンケート調査及びヒアリング調査）を実施するとともに「地域経済成長プラン（仮称）」を策定する。

○企業ニーズの把握や企画立案への活用、効果的な情報発信

1 百万円

- ・市内中小企業の抱える課題やニーズを的確に把握するため、企業の個別訪問や意見交換会などを実施し、効果的な施策の企画立案や個別企業への情報発信等に活用する。

大阪の強み・潜在成長力（ポテンシャル）を活かした経済成長・魅力向上の実現

グローバル規模で躍進する先導的分野への発展・成長

○グローバルイノベーション創出支援事業

1 億 6 千 3 百万円

- ・世界に通用するイノベーションの創出をめざし、「うめきた」に設置している「大阪イノベーションハブ」（OIH）を拠点に、関西における官民協働・地域間連携に取り組み、起業家が、民間の投資資金などを受けながら事業を実現させていく環境（イノベーション・エコシステム）の構築を進める。
- ・これまでの実績等を踏まえ、官民協働による国際イノベーション会議の開催や、起業家教育プログラム、海外の最先端のベンチャー創出地域でのワークショップ、起業家を投資資金提供者等の支援者へつなぐイベント等を実施し、創業、人材育成など地域経済の活性化につなげていく。
- ・さらに、地方創生加速化交付金を活用し、関西一円から有望な創業期ベンチャーを発掘し、短期集中型で適切な支援を行うことによる事業化加速支援に取り組む。

○サイバーフィジカルシステム（CPS）を活用したビジネス創出事業

2 千万円

- ・サイバーフィジカルシステム（CPS/IoT）※を活用したビジネスでの創業や新規事業展開をめざす事業者を対象に、専門コーディネータのもと支援メニューを提供し、創業に向けた支援を行う。（※サイバーフィジカルシステム（CPS/IoT）…あらゆるモノがインターネットにつながることで集まる大量の情報を分析・処理し、その分析結果を現実社会に反映することにより、人々の生活や産業の効率化などを図るもの。）

○大阪トップランナー育成事業

8 千 4 百万円

- ・医療・介護・健康分野等において実現性や成長性等が期待できるプロジェクトを発掘・認定し、認定したプロジェクトに対して、市場投入から販路拡大まで担当コーディネータが伴走し、各段階の課題に応じたオーダーメイド型の継続的サポートを行う。

○クリエイティブ産業創出・育成支援

9千5百万円

- ・「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」を中心に、大阪におけるクリエイターのネットワークの拡大を図る。
- ・クリエイターとものづくり企業をはじめ様々な業種とのマッチングなどを実施することで、クリエイターと異業種企業との協働による高付加価値な製品・サービスの創出につなげるとともに、新たな製品・サービス開発など自ら新規事業を生み出すプロデューサー人材の育成を行う。

○特区制度の推進

4百万円

- ・関西圏として区域指定された「国家戦略特区」について、関係自治体・民間企業等と調整・連携し、都市の競争力強化や、ビジネス環境の整備など経済成長にインパクトを与える取組みを推進する。
- ・「関西イノベーション国際戦略総合特区」の指定を受けた大阪駅周辺地区及び夢洲・咲洲地区について、税制・金融等の支援措置を活用するとともに、最大で地方税がゼロとなるインセンティブを活かし、大阪の強みである「ライフ」「グリーン」等の成長産業分野の企業などのさらなる集積を図る。

○大阪の投資環境等の情報発信、投資有望企業・大学等の発掘・アプローチ、企業等進出支援

8千百万円

- ・本市が有する国際ネットワークを活用するとともに、大阪府や大阪外国企業誘致センター（O-BIC）等とも連携し、大阪の投資環境などの情報を発信する。
- ・立地プロモーションセミナーの開催等により、投資有望企業・大学等の発掘とアプローチを行うとともに、臨海部における現地見学会の開催等を実施する。
- ・大阪進出準備拠点「ビジネスサポートオフィス」の運営や相談窓口の設置など、関係局等と連携し進出に必要なサポートを行う。

○海外ネットワークの充実と国際ビジネス交流の促進

8千1百万円

- ・様々な交流機会を通じて、姉妹都市やビジネスパートナー都市（B P C）等の海外諸都市との都市間ネットワークを深化・発展させるとともに、ビジネス潜在力の高い都市との新規ネットワークの発掘を行う。
- ・また、都市間ネットワークを積極的かつ戦略的に活用し、現地でのセミナー開催などを通じて大阪の強みを効果的にプロモーションすることで、大阪への投資を促進するとともに、海外での見本市出展やミッションの派遣など中小企業等の海外ビジネス展開を支援する。

都市魅力関連施策等による地域・経済活性化

○「大阪観光局」による観光振興事業の推進

3億2千万円

※うち、地方創生推進交付金70百万円を充当

- ・観光振興のプロ組織である大阪観光局において、府市共通の「大阪の観光戦略」を強力に推進するため、マーケティングやプロモーション、M I C E誘致などの観光振興事業を戦略的に実施し、大阪への来訪者・宿泊者数の増加により経済効果を向上させる。
- ・28年度からは、大阪の観光まちづくりを戦略的に推進するために都市型の「大阪版DMO」事業を展開し、大阪の集客力・競争力の強化と都市型の観光地経営の推進を図る。

- 新たな観光拠点の形成に向けた夢洲まちづくり構想検討調査 3千3百万円
- ・大阪・関西の世界的観光資源とのネットワークの充実が図れ、関西観光のゲートウェイとなるポテンシャルを有する夢洲において、観光拠点の形成など新たな機能を盛り込んだ夢洲全体のまちづくり方針や土地利用等関連調査を、国による統合型リゾート（IR）関連法整備の状況も注視しながら実施する。
- 新しい美術館の整備事業 4千6百万円
- ・大阪の新たな都市魅力の創造に向け、中之島4丁目の市有地を活用し、新しい美術館を整備することにより、中之島を文化芸術の重点エリアとする「中之島ミュージアムアイランド構想」を推進する。
- 大阪城エリアの観光拠点化 1億2千6百万円
- ・大阪城エリアの世界的観光拠点化に向けて、PMOを導入した公園全体の管理運営、歴史的・文化的資源である豊臣石垣公開施設の整備などに取り組み、建設局とも連携を図りながら、魅力向上事業を推進する。
- 天王寺動物公園の魅力向上 1千7百万円
- ・民間資金・ノウハウの活用による動物園の魅力・集客力の向上をめざし、民間活力導入にあたっての課題整理や具体事業スキームの構築に向けた詳細検討を進めるとともに、天王寺公園・動物園を核とした天王寺・阿倍野地区のさらなる魅力向上を図る。
- 市立美術館の魅力向上 1億1千7百万円
- ・天王寺エリアの活性化を図るため、多くの集客が見込まれる大規模展覧会の開催に向け、機能・美観向上などさらなる市立美術館の魅力向上及び安心安全の確保を図るための必要な整備・改修を行う。
- 博物館施設の地方独立行政法人化（大阪市ミュージアムビジョン推進事業） 2百万円
- ・博物館施設のさらなる活性化を図るため、より地域や市民にとって価値ある施設としてのめざすべき姿を示す「大阪市ミュージアムビジョン」を策定し、博物館施策の長期的な目標を定めるとともに、地方独立行政法人と他の選択肢等について比較検討を行い、ビジョンの実現に相応しい経営形態として地方独立行政法人をめざす。
- 「歴史」と「食」の魅力発信事業 5百万円
- ・大阪を舞台の一つとしたNHK大河ドラマ「真田丸」の放送を契機とし、民間事業者と連携して、大阪の「歴史」と「食」を軸に、新たな魅力を発信し、大阪観光に広がりをもたせることで観光消費の促進を図る。
- 文楽を特色とする地域魅力創出事業 4百万円
- ・27年度に事業実施エリアとして選定された地域（中央区高津地区）において、地域の子どもたちによる文楽公演など地域住民等と連携した文楽振興事業の実施と、これらの取組みに関する地域内外への情報発信等を通じて、文楽を特色としてうち出す「まち」の形成に向けた地域の気運醸成を図る。

○外国人等観光客受入環境整備事業

1千1百万円

- ・多くの外国人観光客でにぎわいをみせるミナミエリアにおいて、不足する観光バス駐車場対策として、ミナミエリアへのアクセス面や利便性の観点から、市内中心部で観光バス駐車場を設け、外国人観光客の受入環境の整備を図る。

○観光バス乗降場の利便性向上事業

2千8百万円

- ・ミナミエリアへの外国人観光客の急増に対応するため、日本橋の観光バス乗降スペースに誘導員を配置し、バスの誘導や乗降後のスムーズな移動、周辺の駐車場案内等を行うほか、安全かつ円滑な通行確保のため、観光客の整理・誘導を行う。

○地域等における芸術活動促進事業

9百万円

- ・大阪市内に拠点を持ち、文化・アートの活動に取り組む団体等によるモデル事業の効果検証や、アート系NPOやアーティスト等が抱える課題の解決につながる相談事業を実施することで、地域での芸術活動を根付かせるとともに、文化の持つ創造性や、人と人、人と社会等をつなぐ力で、教育・福祉などの地域課題解決にも寄与する活動を促進する。

○大阪・光の饗宴事業

1億8千万円

- ・「御堂筋イルミネーション」及び「OSAKA 光のルネサンス」をコアプログラムとして、民間事業者が主催のエリアプログラムと一体となってプロモーションを展開する「大阪・光の饗宴」を実施し、官民の連携・協働により国内外からの多くの観光誘客や民間投資の促進を図る。

○御堂筋活性化事業

1千8百万円

- ・市、府、経済団体等による実行委員会のもと、御堂筋沿道の団体・企業等と連携しながら、御堂筋を歩行者に開放した集客力あるイベント等にぎわい創出の取組を推進し、御堂筋の魅力発信やブランドの向上、活性化等につなげる。

○「関西ワールドマスタースゲームズ2021」開催に向けた取組み

1千4百万円

- ・2019年から2021年にかけて、国際スポーツ大会が3年連続開催される「ゴールデン・スポーツイヤーズ」が到来することから、これをスポーツ振興を図る好機と捉え、特に「関西ワールドマスタースゲームズ2021」については、組織委員会との共催によるセレモニー等の開催に向けた課題の整理・精査を行うなど、大会の成功に向けて取り組むことにより、市民のスポーツ実施率を向上させ、健康増進を図るとともに、交流人口の増等により、都市魅力の向上につなげる。

○大阪マラソンの開催

9千万円

- ・第6回目を迎える国内最大級の都市型市民マラソン大会である「大阪マラソン」を、多彩な関連イベントを開催し大阪全体が盛り上がる「お祭り」のような大会として定着させ、地域・経済の活性化や観光施策の推進などにつなげていくとともに、これまでのチャリティ文化の普及につながる取組みなどにより、多くの方々が感動と興奮に出会えるスポーツイベントとして10月に開催する。

ビジネスモデル等としての課題解決・改善

○市立大学が有する知見の活用やシンクタンク機能の発揮

- ・市立大学が知的インフラ拠点として大阪の成長により貢献できるよう、設立団体として、地域課題の解決に寄与する先端的な 3 大重点研究（次世代エネルギーの開発研究、健康科学研究、都市防災研究）及び先進的な地域貢献活動の推進を支援する。
- ・市立大学地域連携センター等と連携し、行政ニーズと研究シーズのマッチングを強化し、地域課題解決への寄与を一層進める。

地域の活性化等につながる創業・人材育成

○芸術文化魅力育成プロジェクト

9 百万円

- ・現状の大阪の芸術文化を取り巻く課題解決に向け、大阪の未来をつくるプロデューサーから大阪の芸術文化が抱える様々な課題等の解決につながるような企画案を公募し、様々なジャンルの文化の集積を図り、市民が楽しめる芸術文化の催しを開催する。

○市立大学の知的インフラ拠点としての機能強化

- ・大阪の発展に寄与する新しい公立大学をめざし、府立大学との統合による新大学の実現に向けた準備を進めるとともに、設立団体として、大学による成長を牽引する人材育成の取組みや「地（知）の拠点」整備事業を活かし地域の持続的発展に向けた取組みなどを支援する。